

授業科目	解剖学	単位	2	時間	60	履修時期	1年次 1学期
設定理由	看護の対象である人間の身体的側面を理解するために、身体の形態を学ぶ。成長、発達、障害の理解をするために科学的に看護の行為の裏付けができるような基礎的知識を学ぶ						
学習目標	人体の発生、形態を系統的に理解する						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 序論 2. 人体とその構造 3. 骨格系・筋系① 上下肢、脊柱、胸郭 4. 骨格系・筋系② 頭蓋 5. 骨格系・筋系③ 背部、胸部 6. 循環器系 7. 呼吸器系 8. 消化器系 9. 栄養の消化吸収 10. 泌尿器系 11. 生殖器系 12. 内分泌系 13. 神経系 14. 脳について 15. 感覚器系 16. 試験 					担当者（時間） 非常勤講師（60）	
評価	筆記試験						
テキスト	専門基礎分野 解剖生理学（医学書院） カラーアトラス 人体 解剖と機能（医学書院） 解剖生理学ワークブック（医学書院）						
備考							

授業科目	生理学	単位	2	時間	60	履修時期	1年次 1学期
設定理由	人間の身体的側面を理解するために、人体の働きを学ぶ科学的に看護の行為の裏付けができるような基礎的知識を身につける						
学習目標	人体のはたらきを系統的に理解する						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 序論 ホメオスタシス 2. 血液・組織液およびリンパ 3. 体液と電解質 4. 循環 5. 呼吸 6. 消化と吸収 7. 栄養と代謝 8. 腎臓および尿路 9. 酸塩基平衡の乱れとその代償作用 10. 体温とその調整 11. 内分泌 12. 神経系、睡眠 13. 骨格筋 14. 感覚器① 視覚・聴覚 15. 感覚器② 味覚・触覚 16. 試験 						担当者(時間) 非常勤講師(60)
評価	筆記試験						
テキスト	専門基礎分野 解剖生理学 (医学書院) 解剖生理学ワークブック (医学書院)						
備考							

授業科目	生化学	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 1学期
設定理由	どのような生体物質がどのようなはたらきをして生命が成り立っているかという側面から人間の理解を学ぶ						
学習目標	人体の構成成分である化学物質の性状、その分布および代謝について理解する						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生化学の基礎、生体分子～細胞～生体 2. 代謝の基礎、栄養・消化・吸収・代謝 3. 糖質 4. 糖質代謝 5. 脂質 6. 脂質代謝 7. タンパク質 8. タンパク質代謝 9. ビタミン 10. ポルフィリン 11. シグナル伝達とホルモン 12. 遺伝子と核酸 13. 遺伝子の複製・修復・組換え 14. 転写・翻訳 15. がん 16. 試験 					担当者（時間） 非常勤講師（8） 非常勤講師（22）	
評価	筆記試験						
テキスト	専門基礎分野 生化学（医学書院）						
備考							

授業科目	微生物学	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 1学期
設定理由	微生物に関連した病気の成り立ちや回復の促進、予防および健康の保持増進を行うために微生物の特徴と生体に及ぼす影響、またその対応について学ぶ						
学習目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し、その対応について修得する。						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物の概念と変遷 2. 感染症について 3. 化学療法 4. 病原細菌と細菌感染症 5. 腸内細菌科 6. 結核菌、マイコプラズマ、リケッチア 7. 真菌、原虫 8. 試験(1~7) 9. ウイルスの構造 10. DNA ウイルス 11. ヘルペスウイルス科 12. B ウイルス、RNA ウイルス 13. ムンプスウイルス、麻疹ウイルス 14. 病原ウイルスとウイルス感染症 15. 肝炎ウイルス 16. プリオン、免疫について 17. 試験(9~16) 					担当者(時間)	
						非常勤講師(15)	
						非常勤講師(15)	
評価	筆記試験						
テキスト	専門基礎分野 微生物学(医学書院)						
備考							

授業科目	病理学	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 1学期～2学期
設定理由	健康障害時の対象理解のために障害の原因、関連因子と障害による反応を学ぶ						
学習目標	病因と病変の特徴を理解する						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病気と病理 総論 2. 病理診断について 3. 先天異常 4. 代謝異常 5. 循環障害 6. 炎症 7. 免疫膠原病 8. 腫瘍 9. 老化と死 10. 呼吸器・呼吸器系疾患 11. 循環器・消化器疾患 12. 造血系・神経系疾患 13. 乳腺・乳腺疾患 14. 感覚器・感覚器系疾患 15. 内分泌・内分泌系疾患、生殖器・生殖器系疾患 16. 修了試験 					担当者（時間） 非常勤講師（30）	
評価	筆記試験（レポート）						
テキスト	専門基礎分野 病理学（医学書院）						
備考							

授業科目	治療論概説	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 2学期
設定理由	治療論概説では、放射線・臨床検査・麻酔・ME 機器・リハビリテーションについて、看護に役立てるための基礎的知識を学ぶ						
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線についてその原理と種類から、人体に与える影響を理解する。また、患者情報を得るひとつとして、読影の方法について理解する 2. 検査について、検査の種類と検体の取り扱いについて学び、正確な検査結果を得る必要性について理解する 3. 手術療法を行う上で必要な麻酔について、その種類と方法、麻酔が人体に与える影響を理解する 4. 患者の全身管理を行う上で必要となる ME 機器について、その正しい取扱いと注意点について学び、ME 機器の適正管理の必要性について理解する 5. リハビリテーションについて他動運動での関節可動域訓練の方法について理解する 						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線の原理と注意点 2. 放射線検査について 3. 放射線治療について 4. レントゲン、CT、MRI について 5. 読影の方法について (胸部・腹部・CT・MRI) 6. 試験(1~5) 7. 呼吸管理について 8. 麻酔の種類と方法 9. 麻酔が人体に与える影響について 10. ME 機器の取り扱いについて 11. 輸液ポンプの操作、シリンジポンプの操作 12. パルスオキシメーター、人工呼吸器について 13. 試験 (7~12) 14. 検査の種類と検体の取り扱い方法 15. スパイロメーター、12誘導心電図 16. リハビリテーションについて 17. 演習：介助動作 18. 試験(14~17) 	<p>担当者 (時間)</p> <p>医師 (10)</p> <p>医師 (7)</p> <p>臨床工学士 (4)</p> <p>検査技師 (4)</p> <p>理学療法士 (5)</p>					
評価	筆記試験、レポート						
テキスト	専門 I 臨床看護総論 (医学書院) 別巻 臨床検査 (医学書院) 別巻 臨床外科看護総論 (医学書院) がん放射線療法ケアガイド (中山書店)						
備考							

授業科目	疾病論 I (循環器・腎臓・血液造血器)	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 1学期～2学期
設定理由	循環器系・腎臓・血液造血器系の疾患及び診断、治療、検査を理解する						
学習目標	健康障害時の対象を理解するために各系統別に代表する疾患、診断、治療及び検査を学ぶ						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器系の症状とその病態生理 2. 虚血性心疾患 3. 不整脈 4. 急性疾患、慢性疾患 5. 高血圧症 6. 試験(1～5) 7. 泌尿器の構造と機能 8. 腎の構造と機能 9. 腎臓系の疾患と診断・治療 10. 透析療法と腎移植 11. 試験(7～10) 12. 血液・造血器系の症状とその病態生理、貧血 13. 白血病の病態と診断・治療について 14. リンパ腫と多発性骨髄腫の病態と診断・治療について 15. 出血性疾患の病態と診断・治療について 16. 交差試験、ABO式血液型、血液製剤について 17. 試験(11～15) 					担当者(時間)	
						医師(11) 医師(8) 医師(11)	
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 成人看護学「3」 循環器 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「8」 腎・泌尿器 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「4」 血液・造血器 (医学書院)						
備考							

授業科目	疾病論II (呼吸器・脳神経)	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 1学期～2学期
設定理由	呼吸器系・脳神経系の疾患及び診断、治療、検査を理解する						
学習目標	健康障害時の対象を理解するために各系統別に代表する疾患、診断、治療及び検査を学ぶ						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器系の症状 自覚症状と他覚症状 2. 呼吸器系の検査と治療① 3. 呼吸器系の検査と治療② 4. 呼吸調節に関する疾患 5. 胸膜・縦郭・横隔膜の疾患 6. 間質性肺炎 7. 気道疾患 8. 試験(1～7) 9. 脳神経系の症状とその病態生理 10. 脳神経系の検査・診断と治療・処置 11. 脳神経障害① 12. 脳神経障害② 13. 脊髄疾患、末梢神経疾患、筋疾患・神経筋接合部疾患 14. 脱髄疾患、変性疾患、認知症 15. 脳神経系の感染症、中毒、てんかん、頭痛 16. 試験(9～15) 					担当者(時間)	
						医師(4) 医師(7) 医師(4) 医師(8) 医師(7)	
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野II 成人看護学「2」 呼吸器 (医学書院) 専門分野II 成人看護学「7」 脳・神経 (医学書院)						
備考							

授業科目	疾病論Ⅲ (消化器・内分泌・歯科口腔)	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 1学期～2学期
設定理由	消化器系・内分泌系・歯科口腔内の疾患及び診断、治療、検査を理解する						
学習目標	健康障害時の対象を理解するために各系統別に代表する疾患、診断、治療及び検査を学ぶ						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上部消化管(食道・胃・十二指腸)の病態生理と検査と治療 2. 下部消化管(小腸・大腸)の病態生理と検査と治療 3. 胆膵(胆管・胆嚢・膵臓)の病態生理と検査と治療 4. 肝臓の病態生理と検査と治療 5. 総論 内視鏡下手術、手術療法の実際 6. 外科的治療:食道がん 7. 外科的治療:胃がん 8. 外科的治療:虫垂炎、ヘルニア、イレウス 9. 外科的治療:結腸がん・直腸がん、人工肛門、肛門疾患 10. 外科的治療:肝臓がん、胆道系疾患、膵臓がん 11. 試験(1～10) 12. 糖尿病について 13. 糖尿病の治療 14. 内分泌疾患の診断と治療 15. 歯・口腔の構造と機能、歯科口腔の疾患の理解 16. 歯科口腔の検査と治療、口腔ケア 17. 試験(12～16) 					担当者(時間)	
						医師(9) 医師(8) 医師(9) 医師(4)	
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 成人看護学「5」 消化器 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「6」 内分泌・代謝 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「15」 歯・口腔 (医学書院)						
備考							

授業科目	疾病論VI（精神）	単位	1	時間	15	履修時期	2年次 1学期
設定理由	主な精神障害と精神症状がある対象を理解し、その治療方法を学ぶ。						
学習目標	主な精神障害と精神症状がある対象とその治療方法を理解する。						
授業内容（講義ごとの内容）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統合失調症 2. 気分障害 3. 神経症性障害 4. パーソナリティ障害、器質性精神病、てんかん 5. 知的障害、小児の精神障害 6. 依存症 7. おもな精神科治療 8. 試験 					担当者（時間） 医師（15）	
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎（医学書院）						
備考							

授業科目	薬理学	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 2学期
設定理由	薬物が人体に及ぼす作用と薬物に影響を及ぼす諸因子を理解し、対象の健康障害の回復を促すための知識とする						
学習目標	薬物の特徴、作用機序および薬物の管理について理解する						
授業内容 (講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理学の基礎知識 2. 薬理の相互作用について 3. 循環器系に作用する薬物 4. 抗感染症薬 5. 抗がん剤 6. 免疫治療薬 7. 抗アレルギー薬・抗炎症薬 8. 抹消での神経活動に作用する薬物 9. 中枢神経系に作用する薬物 10. 心臓血管系に作用する薬物 11. 呼吸・消化器・生殖系に作用する薬物 12. 物質代謝に作用する薬物 13. 皮膚科用薬・眼科用薬 14. 救急の際に使用される薬物、漢方薬 15. 消毒薬、輸血製剤・輸血剤 16. 試験 					担当者（時間）	
						医師（8） 薬剤師（22）	
評価	筆記試験						
テキスト	専門基礎分野 薬理学（医学書院） 看護学生のための薬理学ワークブック						
備考							

授業科目	栄養学	単位	1	時間	15	履修時期	1年次 2学期
設定理由	食生活は人間の健康と深い関連がある。人体の健康と栄養素の関連だけでなく、生活の中における食事のあり方と健康と健康障害との関係について学ぶ						
学習目標	人間にとっての栄養の意義を理解し、健康を維持するための適切な栄養について考察する 各疾患における食事療法の意義と実際について理解する						
授業内容（講義ごとの内容）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養の意義と栄養学の目的 病院食、栄養士、食とは 2. 栄養素のエネルギー変換、BMI について 3. 栄養とは 4. 食物摂取とその消化吸収 5. 食について 6. 糖尿病について 7. がん患者の食事、メタボリックシンドローム 8. 試験 					担当者（時間） 栄養士（15）	
評価	筆記試験						
テキスト	看護栄養学 （医歯薬出版） 日本食品成分表 （医歯薬出版）						
備考							

授業科目	社会福祉論	単位	2	時間	30	履修時期	2年次 1学期
設定理由	国民の健康生活を守る上で必要な保健・福祉システムを理解するために社会保障・社会福祉の理念と諸制度を理解する。						
学習目標	変化する社会の動向に伴う医療に関する社会福祉・社会保障制度の活用方法を理解する。						
授業内容（講義ごとの内容）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保険制度と社会福祉 2. 現代社会の変化 3. 社会保険制度 4. 医療保険制度 5. 高齢者福祉 6. 障害者福祉 7. 児童家庭福祉 8. 試験(1～7) 9. 社会保健 10. グループホームとは 11. 介護保険制度 12. 個別援助技術（ケースワーク） 13. 社会保障 14. 社会福祉実践 15. 社会福祉の歴史 16. 試験(9～16) 					担当者（時間） 社会福祉士（15） 社会福祉士（15）	
評価	筆記試験						
テキスト	系統看護学講座 社会保障・社会福祉（医学書院）						
備考							

授業科目	地域保健論	単位	2	時間	30	履修時期	3年次 1学期・2学期
設定理由	健康上の問題を解決するためには世界や時代の動きへの理解が重要である。そのため公衆衛生に関連する統計情報を学ぶ。また、人間の健康を守るため、保健活動について学ぶ。						
学習目標	一人ひとりの健康は時代や世界の動きの影響を受けていることを理解し、組織的な保健活動を理解する。						
授業内容（講義ごとの内容）	1. 2. 公衆衛生とは 3. 4. 集団の健康をとらえるための手法—疫学 5. 6. 環境と健康 7. 8. 母子保健・成人保健・高齢者保健 9. 10. 精神保健・歯科保健・難病支援・障害支援 11. 12. 感染症対策・学校保健 13. 14. 産業保健・健康危機管理・災害保健 15. 国際保健 16. 試験					担当者（時間） 非常勤講師（30）	
評価	筆記試験						
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生（医学書院） 厚生統計協会 国民衛生の動向（2年次購入）						
備考							

授業科目	関係法規	単位	2	時間	30	履修時期	3年次 1学期・2学期
設定理由	<p>看護職に必要な法令、安全な看護の提供をするため、関係職種の業務の法的根拠と合わせて、法令に基づいた看護職の働きや責任について学ぶ。また、看護の対象である人間の生活、健康を支えることに関係する保健・医療・福祉の各分野の連携を法的に理解し、看護職の責任、役割を自覚し、看護マネジメントにいかせる能力を養う。</p>						
学習目標	<p>1. 人々の健康な生活を支えている法令、健康な生活を維持するために活用できる法令をそれぞれの関係性を踏まえて理解する。 2. 看護職として働くにあたって自らの身分や責任、業務を理解する。</p>						
授業内容(講義ごとの内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に関係する法を学ぶにあたって 2. 現代医療の特徴、看護事故、医療紛争 3. 法的責任、民事刑事責任の区別 4. 看護に関わる基本的法律 5. 保健師助産師看護師の役割と法的責任 6. 薬務法 7. 民事責任、刑事責任、法的責任、事例検討 8. 民事責任、刑事責任、法的責任、事例検討 9. 試験・課題(1~8) 10. 医事法 11. 医療に関する広告、病院開設・管理・構造設備 12. 医療関係資格法、医療を支える法、共通保健法、分野別保健法 13. 保健衛生法、環境衛生法、社会保険法 14. 介護保険法、年金、社会福祉法、労働法 15. 試験(10~14) 					<p>担当者(時間)</p> <p>専任教員(9) 薬剤師(2) 非常勤講師(8) 学校事務長(11)</p>	
評価	<p>筆記試験 グループワーク・課題 (講義時に説明)</p>						
テキスト	<p>系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 (医学書院)</p>						
備考							